

## 現行戦略の効果検証

## 次期戦略の検討

### 現状の把握

#### 町民意識・各種統計・社会情勢

- 現行戦略を策定する際の根拠となった町民意識・各種統計データを時点更新。
- 各行政分野の社会情勢。
- 国・県の地方創生事業の動向。

#### 評価指標の達成状況

- 現行戦略の直接的な評価指標は数値目標とK P I。  
※取組期間満了前のため、見込の数値を含めて整理。

#### 次期総合計画の検討状況

#### 行財政改革の理念

- 町の現状と将来の課題を見据えて指針化された、これからの行政サービスのあり方を反映。

### 課題の整理

#### 町の将来的なビジョンの(再)確認

- 人口推計や次期総合計画の議論の動向を踏まえながら、どのような町の姿を描くべきか、長期的な視座から再検討。  
【議論の例】 総人口が減少しつつも老年人口の割合は増加。  
⇒ 「人生100年・生涯活躍をコンセプトに据えるべきでは？」

#### 町を取り巻く社会情勢と現行戦略とのギャップを整理

- 現行戦略の方向性や手法は、町民や社会のニーズに合致しているか確認。  
【議論の例】 農業はほ場整備による生産性の向上が期待される一方で、国内の食料需要は減少していく可能性。  
⇒ 「『何をつくり、どう売るか』という生産者の主体性を支援することに注力すべきでは？」

#### 評価指標・事業の効果検証(有効性・周辺環境・推進力)

- 戦略で掲げた事業が効果的に取組がなされたか、評価指標は適切であったか、各指標・事業を有効性・周辺環境・町の推進力の観点から検証。  
【議論の例】 戦略全体でK P Iの達成状況が芳しくない。  
⇒ 「町の推進体制を見直すべきでは？」

### 次期戦略の基本方針

将来の町の姿についてのビジョン  
(戦略全体のコンセプト)

これからの行政課題を具体化

行政改題に戦略的に対応する事業

評価指標の設定  
(数値目標・K P I)

## 現行戦略を軌道修正へ

- 当推進会議には、次期戦略の基本的な考え方と大きな方向性について審議いただきたい。
- 推進会議の審議を踏まえ、町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部会議（本部長：町長）により戦略を策定する。